

持続可能なコーヒー生産の実現に向けた石光グループの 2 つの認証制度の方針について
—— 「自社認証マーク制度」と「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」 ——

主に中南米、アフリカ、アジア地域を生産拠点とするコーヒー産業では、世界規模で深刻化している環境問題と発展途上国の慣習に起因する不正労働などの社会問題を抱えており、持続可能なコーヒー生産を実現するためには地域ごとの課題解決に向けた産業全体での取り組みが不可欠です。

石光グループはコーヒー事業のパイオニア企業として、世界中のコーヒー生産地における環境課題と社会課題に対する取り組みを長期的に管理、支援することでサプライチェーン全体の良好なリレーションシップを構築し、持続可能なコーヒー生産の実現を目指しております。

■ **2 つの認証制度：「自社認証マーク制度」、「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」**

石光グループでは、当社独自の認証基準である「自社認証マーク制度」と「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」に準拠した「認証コーヒー」の流通を促進してまいります。今後、この 2 つの認証制度から生まれる製品の流通を増やすことで、世界規模で深刻化している環境問題や、主にコーヒー生産地で抱えている児童労働、強制労働などの不正労働や劣悪な労働環境などの社会問題に対して改善や解決を図ります。

■ **3 つの課題（環境課題、社会課題、経営課題）に対するコーヒー生産地の活動を評価**

コーヒー産業には、気候変動の影響でコーヒーの栽培地が半減するといわれている「コーヒーの 2050 年問題」のように事業の存続を左右する喫緊の課題をはじめ、コーヒー生産地域の不正労働問題、人種や文化の違いによる差別問題など解消すべき問題が山積しています。環境への負荷を軽減し、労働者が不利益を被ることなく正当な利益を得られるようにするためには、コーヒー産業の透明性を高めるためのエンド・ツー・エンドの取り組みが求められます。石光グループでは「自社認証マーク制度」と「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」の 2 つの認証制度を通じて、コーヒー産業における環境課題、社会課題、経営課題の解決に取り組んでまいります。

1. 自社認証マーク制度（「Diversity 認証」、「Green Roasting 認証」、「Carbon offset 認証」、「Circulation 認証」、）

「自社認証マーク制度」は国連が定めた SDGs（持続可能な開発目標）に基づいて当社が策定した独自基準（「自社認証」）で、コーヒー生産の各工程における環境課題と労働環境に対する取り組みを評価し、基準を満たす製品に認証マークを付与し、商品への掲載を推奨しております。

石光グループは次の 4 つの認証制度を通じて、コーヒー産業全体での 2050 年までのカーボンニュートラルの実現と新しい価値の創造を目指しております。

1-1. Diversity 認証

「Diversity 認証」は、世界のコーヒー生産地における課題を特定し、それらの解決に向けた活動を支援するために当社が独自に開発した評価基準で、コーヒー生産地域における人種、性別、障がいの有無などによる差別の排除と多様性の尊重に対する取り組みを実践している生産地の製品に対して付与される認証です。



1-2. Green Roasting 認証

「Green Roasting 認証」は、コーヒーを焙煎する際に発生する CO₂ の排出抑制と抽出後の「コーヒーかす」の利活用に対する取り組みの評価基準で、近畿大学と当社が共同開発したバイオコークスなどのバイオマス燃料を使用して焙煎された製品に付与される認証です。



1-3. Carbon offset 認証

「Carbon offset 認証」は、コーヒー生産におけるすべての工程で排出される温室効果ガス（GHG）の合計排出量を算出し、同量のクレジットを購入することでオフセットしている製品に対して付与される認証です。

1-4. Circulation 認証

「Circulation 認証」は、温室効果ガス（GHG）の Scope 3 の排出量の削減を目的として、ごみの再資源化や経済の循環などのサーキュラーエコノミーの実現に向けた効果的な取り組みを実施している製品に対して付与される認証です。2050 年までのカーボンニュートラルの実現という目標を達成するためにも不可欠な活動であり、今後当社が注力していく事業領域の 1 つです。



2. 「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」(環境課題、社会課題、経営課題)

「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」によって、コーヒー生産における環境、社会、経営の3つの課題解決に向けた取り組みを評価・管理することで、コーヒー産業全体での持続可能なコーヒー生産を実現してまいります。すでに市場に流通している「認証コーヒー」(第三者機関のサステナビリティ審査に合格したコーヒー)についても、「石光グループ サステナビリティ・コーヒー基準」に沿った製品は当社の認証製品と同等とみなし、持続可能なコーヒーとして取引と流通を推進してまいります。

以下、取り扱いの可能性がある認証(2024年2月現在)



※1



SUSTAINABLE
MANAGEMENT
SERVICES



2-1. 環境課題

コーヒー栽培では病害虫対策で農薬などの化学薬品を使用し、コーヒー生産では大量の水を使用しますが、これらの行為がコーヒー生産地域の環境に大きな負荷を与えています。評価項目には、コーヒー生産地域の環境保全と経済の循環を考慮し、水資源や化学薬品の効率的な利用に加え、ごみの削減、再生可能エネルギーの利活用などの基準を設定してまいります。

■ 評価項目

- ・水源の保全および節水と排水に関する取り組み
- ・水の使用権および利用効率に関する取り組み
- ・農薬などの化学薬品の取り扱い、保管、廃棄の手順
- ・廃棄物の削減および廃棄物の管理、廃棄の手順
- ・再生可能エネルギーの利活用の取り組み

2－2．社会課題

コーヒー生産地には東アフリカ、中米、アジアなどの発展途上国も多く、不平等な労使関係の慣習が根強く残っている地域もあり世界的な社会問題となっています。石光グループでは、不正労働の撲滅、労働者の権利の保護、あらゆる差別の排除、正当な賃金の支払いなどについて、コーヒー生産地の管理・運営における透明性を高めるための取り組みを支援します。評価項目には、生きていくために必要な保障が網羅されているかを評価するための基準を設定してまいります。

■評価項目

- ・ILO（国際労働機関）の宣言を遵守した児童労働、強制労働、人身売買などの撲滅に関する取り組み
- ・労働者の結社ならびに協議の自由を保障に関する項目
- ・国籍、民族、性別をはじめとするあらゆる差別の排除、ハラスメント（嫌がらせ）の防止、苦情や相談への対応に関する項目
- ・各地域の生活賃金を考慮した適切な賃金支払いに関する項目
- ・就業時間や労働条件を含めた雇用契約に関する項目
- ・出産および育児休暇などの休暇制度と福利厚生に関する項目
- ・健康増進および健康被害リスクの特定と排除に関する取り組み
- ・業務に必要な防護服および装備の提供状況に関する項目
- ・有害作業に関する業務規定ならびに従業員を保護するための取り組み

2－3．経営課題

コーヒー生産に従事している労働者が弱い立場に立たされていることが多いことを考慮し、石光グループでは労働者の保護を優先とした管理体制の整備と、法律に準拠した技術習得支援に関する取り組みを推奨しています。評価項目には、労働問題における責任の所在を明確にし、コンプライアンスの遵守とガバナンスの透明性を高めるために必要な基準を設定してまいります。

■評価項目

- ・管理体制に関する項目
- ・業務運用、製品管理、品質管理などの手順

・汚職、贈収賄の排除および法律遵守に関する項目

これからも石光グループは、世界中の多様な人々がつくるコーヒーだからこそ、「コーヒーの多様性」という新しい価値を生み出せると信じ、環境、地域社会、すべての人々に配慮したコーヒー生産をサプライチェーン全体で確立、維持できるよう努めてまいります。

※「コーヒー」に関するグループ方針です。グループ全体としての方針に合わせて随時アップデートしてまいります。

※1： <https://www.rainforest-alliance.org/ja/>

※2： AtSource はサプライヤー独自のプログラムです。